

トウエピラ

令和7年1月15日
札幌市立八条中学校
学校だより第5号

3 学期を迎えて

学校長 和泉 明一

いよいよ 2025年、令和7年がスタートしました。皆さんはあまりピンと来ないかもしれませんが、今年には昭和100年にあたるということで、昭和生まれの自分は少しだけ感慨深いところがあります。

この冬休みは、例年になくとても雪の少ない穏やかな日が多かったですね。病気やけがなどなく、元気に過ごし、リフレッシュできたでしょうか。

さて、皆さんは冬休みの間に「全国高校ラグビー大会」を観た人はいますか。今年も多くの感動的な試合が繰り広げられ、7日に行われた決勝戦で見事優勝を決めたのは神奈川県桐蔭学園でした。北海道代表の札幌山の手高校、遠軽高校は惜しくも1回戦で敗退しましたが、私自身も高校時代ラグビー部に所属していたので、選手たちのひたむきな姿には時間を忘れ熱中していました。

また、この写真にあるように昨年12月末に、毎年恒例の高校時代のラグビー部OB会に参加し、楽しいひと時を過ごしたのですが、卒業後何十年経っても継続できる仲間意識は自分自身の礎にもなっているとあらためて感じたところです。

今日は、ラグビーのルールブックのはじめに書いてある「ラグビー憲章」の5つのコアバリューを皆さんに紹介します。その5つは「品位、情熱、結束、規律、尊重」です。

「品位」は、誠実さとフェアプレーによって生み出されます。

「情熱」は、興奮を呼び、愛着を誘いラグビーファミリーへの帰属意識を生みます。

「結束」は生涯続く友情、絆、チームワーク、そして多様性を超えた忠誠心へつながる一体的な精神をもたらします。

「規律」はフィールドの内外において不可欠であり、ラグビーの価値を守ることによって表現されます。

「尊重」は仲間、相手、審判を含めすべての人を尊重し、多様性を理解することが最も重要であるとしています。

これらの言葉は、学校、八条中というチームを考えるときにもぴったり当てはまり、校長としてより良い学校にしていくために、また人間としてより充実した人生を歩むために、自分が持つ可能性を信じて、周りの人の力を借りながら、自分がやるべきこと、自分にやれることを探しチャレンジしてみようと改めて勇気をもらい続けているところです。

ぜひ皆さんにも、「チーム八条中」のメンバーとしての「品位、情熱、結束、規律、尊重」を考えてみてください。そして少しでも前進できる新しい一年としてもらいたいと思います。

言うまでもなく、3学期はこの一年間を締めくくるまとめの学期であると共に、3年生にとっては卒業という人生の節目を迎える大切な学期です。いよいよ進路実現のための本番が近づきました。その日を前に、不安やプレッシャーを感じ始めている人も多いかもかもしれません。それに打ち勝

つための最大の武器は、「学年の結束」です。最後まで努力を続けてください。また、自分には学級や学年の仲間がいること、そして皆が同じように不安なのだということを、心の拠り所にしてほしいと思います。3月の卒業式には、共に成長してきた仲間と、晴れ晴れとした気持ちで巣立っていくよう期待しています。

2年生、1年生の皆さんは、この一年間の仕上げを行う総まとめの学期になります。仲間との絆を強め、「尊重の気持ち」を大切にしましょう。思いやりのある豊かな心を次年度に向けて育ててください。また、勉強や生徒会活動、部活動などにもさらに意欲的にチャレンジし、困難や葛藤を乗り越えられるようになった、自分の成長を確かめてほしいと思います。

全校的な動きとしては、生徒会主導の「後期 Plus Project」や「送別週間」にも取り組みます。卒業式や次年度に繋がる活動を通して、全校の絆を深め、開校70周年の八条中の伝統をさらにアップデートさせてほしいと思います。皆さんの動きやその成果を見られるのが本当に楽しみです。未来につながる「チーム八条中」の新たな姿を見せてください。期待しています。

では、健康管理に十分気をつけ、今学期も元気良く過ごしてくれることに期待して、始業式のお話を終わります。

令和7年1月15日 始業式より

代表生徒の言葉

3学期を迎え、学年のまとめの時期となりました。各学年の代表生徒の作文を紹介いたしますので、自らの目標につなげて、充実した学校生活を過ごしてほしいと願っています。

「3学期を迎えるにあたって」

1学年代表生徒

私が3学期に特に頑張りたいことは、授業前の3分前着席です。3分前着席の良いところは、授業が始まる前に前回の授業の復習をできることや、休み時間と授業のON、OFFを落ち着いて行えるといったことがあげられます。しかし、2学期では、授業前の着席がおろそかになって、授業が始まる前に前回の授業の振り返りや、授業と休み時間の切り替えができていないことがありました。なので、3学期では、授業前の3分前着席をしっかりと行い、落ち着いて、授業と休み時間の切り替えを行うことができたらいと思っています。そのためにも、前の授業が終わり、休み時間に入ったら、友達のところに行って、話すのではなく、その前に、次の時間の授業準備をしっかりとしたいです。3学期でも気をつけていても、着席できないということがあるかもしれませんが、失敗してしまったときは、その反省をどのように次に活かせるかをしっかりと考えたいです。

また、3分前着席以外にも、授業中の反応をしっかりとするなど、2学期に学んだことをしっかりと、3学期に活かして更にもう一歩成長できるように頑張りたいと思います。そして、3ヶ月後には、2年生になり、後輩ができます。1年生の良いお手本となれるような行動をしていきたいです。

「土台」

2学年代表生徒

私の3学期の抱負は「土台をつくる」ということです。なぜ土台なのかというと、未来の自分のためになると考えたからです。そして、その抱負を2つにまとめてみたので、説明します。

1つ目は自主学習の習慣化です。2年生の3学期は3年生の0学期とも呼ばれており、私はあと数ヶ月で最高学年となります。そのため、受験への意識も強くなってきました。それに向け、「日頃の自主学習を習慣化する」という土台をつくり、自分が学びたい環境へ行けるよう努めていきます。

2つ目は部活動での基礎をかためることです。私は吹奏楽部に所属しています。新1年生が入部する前に、土台となる基礎を固め、この先出演するコンサートや定期演奏会、学校行事等で経験を積み、夏のコンクールで目標を達成できるよう頑張ります。

私は、3学期のうちに、この2つの土台をつくり、自分を含め、誰かのためになることを積極的にしていきます。

「Story ～自信のチカラ～」

3学年代表生徒

いよいよ受験へ向かう3学期、私は「自信」をテーマに過ごしたいと思います。なぜなら、「自信があること」は私にとってパフォーマンスの質に大きく関わるからです。というのも、私はこれまでの3年間のテストや部活の試合を通して、それらに自信をもって臨むことができれば、より100%に近いパフォーマンスを発揮できると学んできました。

その点において受験は100%の力を発揮するための「自信」がとても大事になります。もし、自分に自信がなくもっと勉強しておけばよかったと後悔してしまったら、それは力を発揮できず、結果に悪く反映されてしまうかもしれません。そのため、自信を持てるほどの努力を重ね、受験に向かっていきたいです。

来たる、「卒業」を自分の3年間の努力を誇り、自信をもって胸を張って迎えたいです。また、3年間支えてくれた先生方への感謝を自身の成長で見せ、一緒に頑張ってきて、そして、たくさん応援してくれた後輩へ残せるものを残して、晴れやかな気持ちで新しい道に進んでいきたいです。

